



児童にネットの情報モラル講話

美濃加茂市の加茂野小学校で21日、県警サイバー犯罪対策課員らによる情報モラル講話があり、全校児童735人がインターネットで危険な目に遭わないために正しい使い方を学んだ。

市立小中学校の児童生徒はタブレット端末を貸与され、授業などで使っている。講話は加茂署と同課が、低中高学年ごとに3回に分けて実施した。

同課員はスマートフォンやパソコン、インターネットについて「安全に正しく使うことができ

ば、とても役立つ道具になる」と説明。小学3年の女子児童が被害に遭った事件を紹介し、「知らない人にメッセージを送らない」「人に見られて困る写真は撮らない」などの注意点を挙げ、「迷ったら家族や学校に相談して1人で悩まないで」と呼びかけた。

学んだことをおさらいする○×クイズもあり、県警サイバー防犯ボランティアの愛知淑徳大4年、高橋茉莉さん(21)＝瑞穂市＝が出題。児童らは手で○×のサインを出し答えていた。(近藤晶)

加茂野小で加茂署など

2023年4月22日(土) 中日新聞 朝刊より

この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。